

平成 21 年度における国等における温室効果ガス等の排出の削減に
配慮した契約の締結実績の概要

平成 22 年 6 月 1 日
独立行政法人日本スポーツ振興センター

国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律(平成 19 年法律第 56 号。以下「環境配慮契約法」という。)第 8 条第 1 項の規定に基づき、平成 21 年度における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の締結実績の概要を取りまとめたので、公表する。

1 平成 21 年度の経緯

環境配慮契約法及び国及び独立行政法人等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する基本方針(平成 22 年 2 月 5 日閣議決定。以下「基本方針」という。)に基づき、可能なものから温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約(以下「環境配慮契約」という。)を締結した。

2 環境配慮契約の締結状況

基本方針で環境配慮契約の具体的な方法が定められている電気の供給、自動車の購入、船舶の調達、エネルギー改修事業(ESCO 事業)及び建築物の建築又は大規模な改修に係る設計業務のうち、電気の供給に関して、以下のとおり環境配慮契約を締結した。

契約期間	平成 22 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日	
契約電力	国立霞ヶ丘競技場陸上競技場	1,600kW
	国立霞ヶ丘競技場秩父宮ラグビー場	157kW
	国立代々木競技場	1,700kW
	日本スポーツ振興センター本部事務所	185kW
	味の素ナショナルトレーニングセンター	150kW
	国立スポーツ科学センター戸田艇庫	123kW
予定使用電力量	国立霞ヶ丘競技場陸上競技場	5,124,000kWh
	国立霞ヶ丘競技場秩父宮ラグビー場	490,400kWh
	国立代々木競技場	7,320,000kWh
	日本スポーツ振興センター本部事務所	1,239,800kWh
	味の素ナショナルトレーニングセンター	118,100kWh
	国立スポーツ科学センター戸田艇庫	393,800kWh
契約電力(合計)		3,915kW
予定使用料電力量(合計)		14,686,100kWh
契約方式	事業者の環境配慮の取組状況により入札参加資格を制限する一般競争入札(裾切り方式) <small>(注1)</small>	
入札申込者	5 者(入札参加資格に適合した者:5 者)	
落札者	イーレックス株式会社	

(注1) 当該入札の申込者のうち、二酸化炭素排出係数、未利用エネルギー活用状況、新エネルギー導入状況をそれぞれ点数化し、その合計が基準以上である者の中から、最低の価格をもって申込みをした者を落札者とするもの。

3 その他の環境配慮契約に係る事項

- 環境配慮契約を推進するための体制として、環境物品等の調達に関する基本方針に基づき設置された「グリーン調達連絡会議」を活用することとした。
- センターにおいて、環境配慮契約法及び基本方針に基づき、温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約を推進するよう周知を図った。